

冷却水の異常による装置への影響でお困りではありませんか？



課題

冷却水の状態監視をアナログ計器の目視確認のみで行っている場合、人的ミスや常時モニタリングの困難さによって異常発生の際に気づきが遅れて、機械故障に繋がる可能性があります。

【溶接機の場合】

冷却水の流量不足や温度異常により、溶接機的能力が低下してしまう・・・

【レーザ加工機の場合】

冷却水の異常により、レーザ出力が低下してしまう、発信器の寿命にも影響する・・・

【高周波加熱装置の場合】

冷却水の異常により、装置が停止してしまう・・・



装置への影響が
大きいので大変！

解決案

オムロンのIoT液体流量センサE8FCシリーズとIoT液体圧力センサE8PCシリーズなら、冷却水の流量/圧力 + 温度を常時センシングして異常を早期発見できます！



IoT液体流量センサ（E8FC）とIoT液体圧力センサ（E8PC）の特長

● 既存センサからの置きかえが容易

配管を切らずに導入できる

今、流量計や圧力計を設置している箇所に配管を切らずに交換できます。サイズ変換のアダプタを多種取りそろえ、既存の置きかえが簡単です。



IoT化出来て導入もとても簡単！

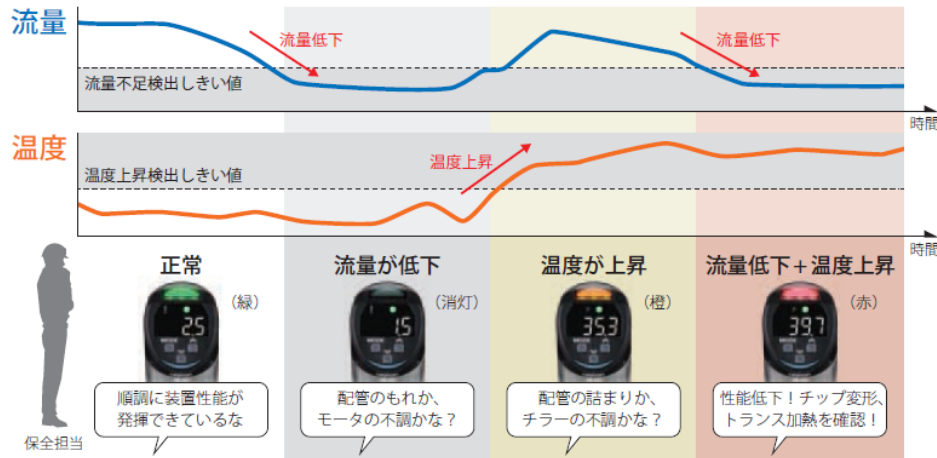
水・純水

不凍液

高温・高圧にも対応！

金属配管：10～25A対応
樹脂配管：φ13～34mm対応

● 冷却水の状態をLEDで表示



IoT液体流量センサE8FCは、同一箇所の流量と温度を同時に監視できます。これらのしきい値を設定し、個別もしくは流量・温度の組み合わせで状態をLED表示。異常の兆候がある機器など、状態を「見える化」できます。

● システム構成例

